事例No.	1397
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	静岡県掛川市

事例区分	一般行政

タグ	・税財政 ・地域運営組織 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

安全・安心をめざし市民とともに着実な森林整備

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

静岡県　掛川市（安全・安心をめざし市民とともに着実な森林整備）

- 掛川市の森林率は42%であり、北部は森林、南部は農地を中心とした土地利用がなされている。森林組合とＮＰＯ法人が森林整備の担い手として活躍しているが、市民の多数は農業、製造業に従事しており、森林に対する関心は極めて低い。このため、森林に対する市民の認識、意識醸成を着実に図るとともに、これまで関心が無かった市民を事業検討の場に取り込み、市民の合意形成を図りながら森林整備を推進する方針。
- 令和元年度は、広く市民の意見を聞く場として掛川市森林経営管理推進協議会を設置し、譲与税活用のガイドラインを議論するとともに、市全体の対象森林把握のための調査を行った。令和２年度は、インフラ保全森林整備地域の全体量を把握する調査を行うとともに、市道、送電線施設などのインフラ周辺の森林を重点として意向調査を行い、その成果に基づき２地区において間伐等の森林整備を行った。
- 令和３年度は、引き続き重要インフラ保全森林整備を推進し、林道等の整備を進めつつ、着実な森林整備を図ることとしている。

□　事業内容

林業振興管理事業（重要インフラ保全森林整備事業）

・市道、送電線施設などのインフラ周辺の森林について、風倒木等による施設への影響が懸念される箇所の整備に関する全体計画を樹立するとともに、要整備箇所の現況調査を実施
・インフラ周辺の森林について、森林経営管理制度に基づく意向調査を重点的に実施
・意向調査の結果、森林の経営管理を市に委託する意向が示された森林について、経営管理権の設定または協定書を締結し、間伐及び除伐を実施

【事 業 費】9,729千円（全額譲与税）

【実　　績】意向調査森林所有者数　27名
森林整備面積 2箇所 4.5ha


（森林整備　前）


（森林整備　後）



（ＰＲ看板）

□　事業スキーム

森林所有者 ⇔ 掛 川 市 ⇔ 事 業 者

経営管理権の設定
または協定の締結

森林整備事業の実施

□　工夫・留意した点

・事業対象地は、地元から要望を受けた市道（緊急避難路）、送電線等重要インフラに隣接する森林を選定し、地元や送電線管理者と協働で整備を進めた。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	26,988千円
②私有林人工林面積（※１）	6,153ha
③林野率（※２）	42%
④人口（※３）	114,602人
⑤林業就業者数（※３）	28人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より